

第2回 電気保安人材・技術WG
資料1 - 2

「電気保安・電気工事業界の認知度向上・ 入職促進に向けた協議会」の活動について

令和元年10月16日
一般社団法人 日本電気協会

- I．協議会設立にあたって
- II．協議会が目指すインターネット戦略
- III．第1回ワーキングでの検討事項

電気保安人材は将来的に不足の懸念

- 「電気保安人材の将来的な確保に向けた検討」に関する報告書が、経済産業省から公表された。（2017年3月）

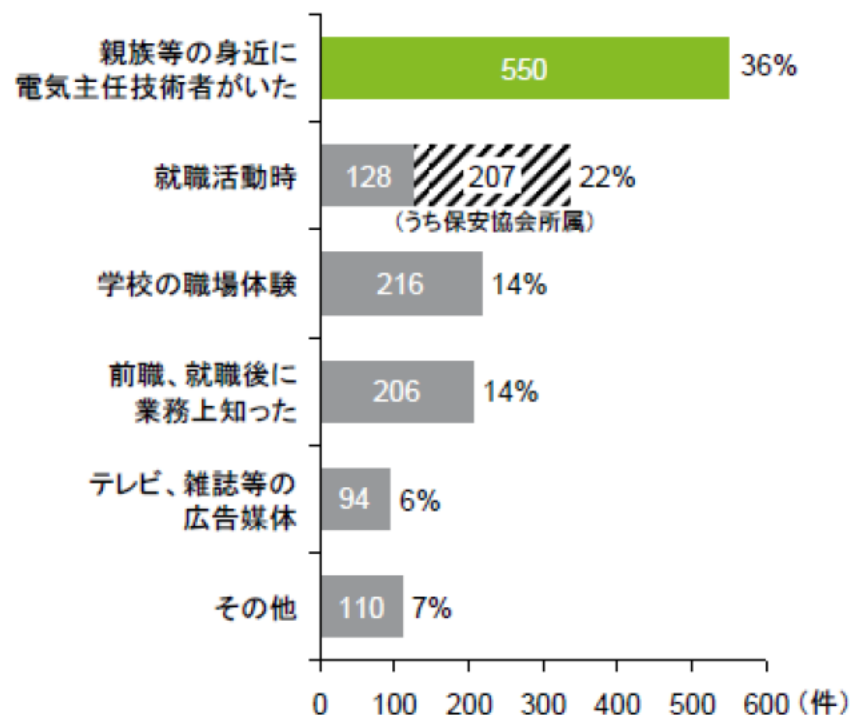
背 景	結果のポイント		
電気保安人材不足の懸念 電気主任技術者、電気工事士有資格者について、今後不足するのではないかと懸念。	電気主任技術者	1種	中長期的に不足は生じない。
		2種	地域によっては再エネ設備向けの供給が不足する可能性あり。
		3種	保安法人では2020年頃～不足する可能性あり。
人材需給実態把握が必要 これまで電気保安人材の需給の全体像について包括的な調査を実施しておらず、把握する必要がある。	電気工事士	1種	高齢層の退職などにより 2020年頃～4万人規模の不足 が発生する可能性あり。
		2種	入職者減少などのため、 2020年頃～1万人程度の不足 が発生する可能性あり。

入職の大半が親族等であり、認知度が低い

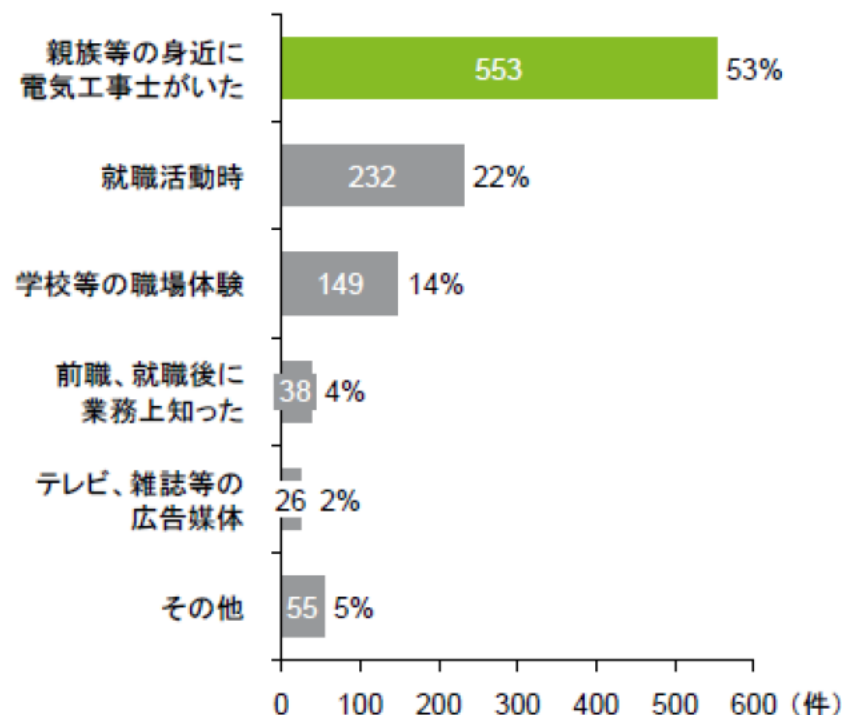
電気保安・電気工事業務を認知したきっかけの大半が
親族等の身近な存在であり、一般的な認知度は低い

（出所）デロイト・マツコンサルティング 合同会社「電気保安人材の中長期的な確保に向けた業界横断的な認知度向上
並びに入職促進に関する調査・検討」（2019年3月15日）より

電気主任技術者



電気工事士



(出所) デロイト・マツココンサルティング 合同会社「電気保安人材の中長期的な確保に向けた業界横断的な認知度向上並びに入職促進に関する調査・検討」(2019年3月15日)

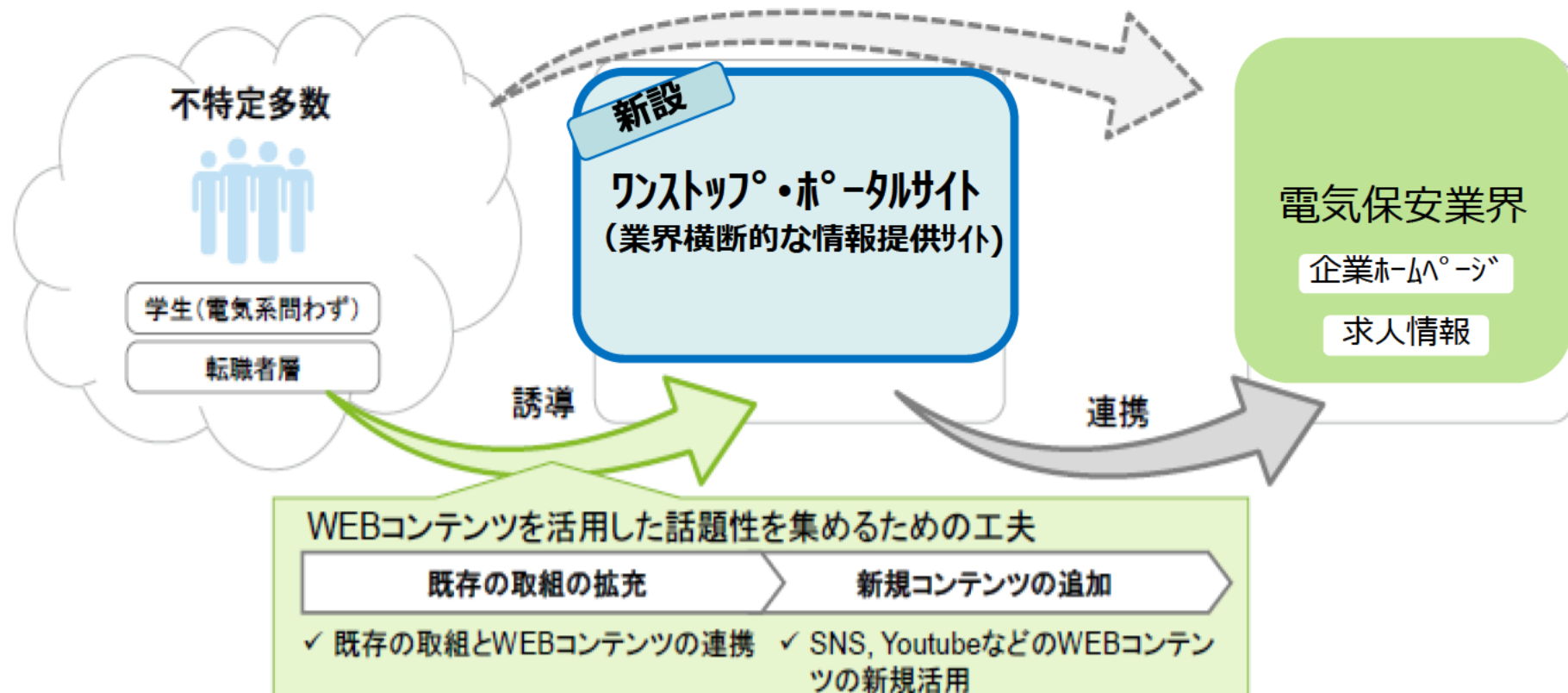
SNS、Youtube等のウェブコンテンツにより
不特定多数の関心を惹き ワンストップ・ポータルサイト
へ誘導する

(出所) デロイト・マツココンサルティング 合同会社「電気保安人材の中長期的な確保に向けた業界横断的な認知度向上
並びに入職促進に関する調査・検討」(2019年3月15日)

話題性を集め、各団体ホームページへ誘導



これまで広く一般層を電気保安業界の求人応募に促せていなかった



(出所) デロイト・マクンザリング 合同会社「電気保安人材の中長期的な確保に向けた業界横断的な認知度向上並びに入職促進に関する調査・検討」(2019年3月15日)

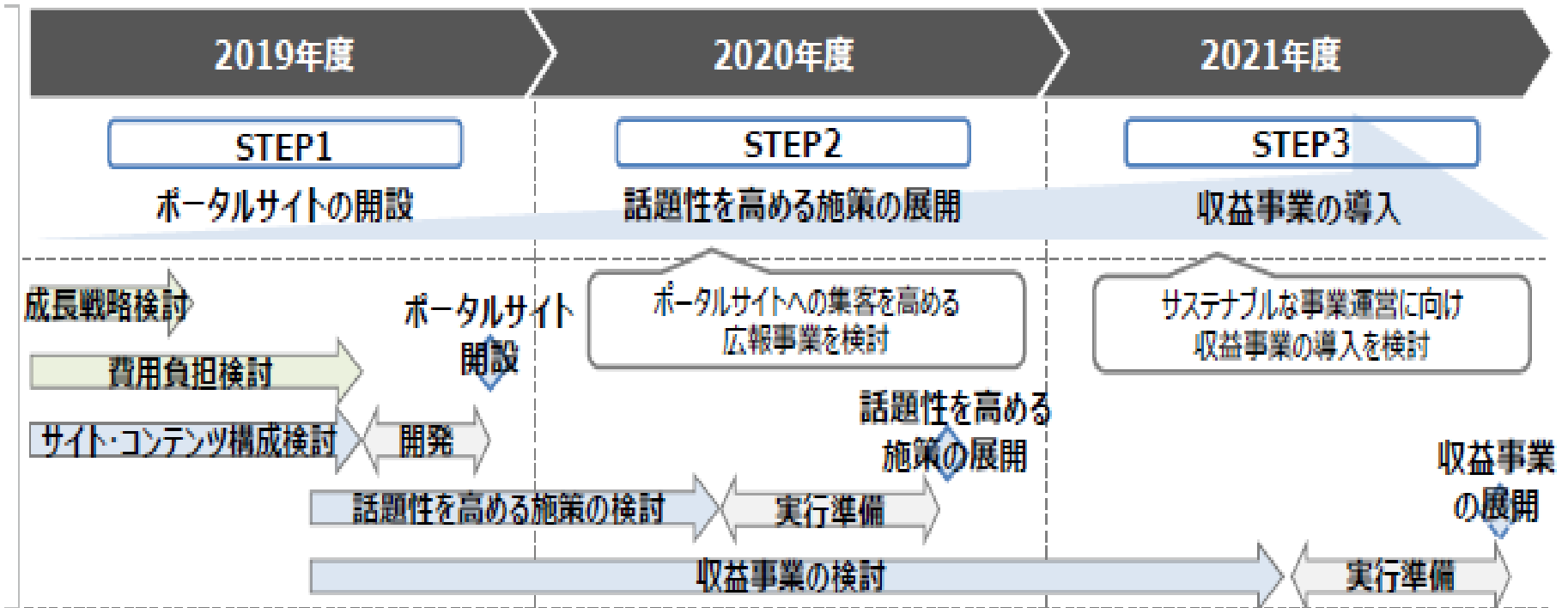
認知度向上・入職促進を図る協議会を設立する

- ・ 業界主体の協議会を立ち上げ、業界横断的なポータルサイトをスモールスタートさせる。
- ・ 段階的に事業拡大を図り、(例えば転職支援、研修企画等) 業界の認知度向上・入職促進を目指す。

スモールスタートから段階的に事業拡大を図る

名称	電気保安・電気工事業界の認知度向上・入職促進に向けた協議会
目的	電気保安・電気工事業界の認知度向上及び入職促進に向けて、業界横断的に取組み、電気保安人材を中長期的に確保する

施策案スケジュール（案）



当協議会について

1. 名称

「電気保安・電気工事業界の認知度向上・入職促進に向けた協議会」

2. 設立月日

令和元年7月31日

3. 設置目的

電気保安・電気工事業界についての一般的な認知度が低いこと、また、認知されても、資格取得や採用応募等の行動を起こすことにつなげる一連の流れを促す仕組みが存在しないことなどに対応するため、中長期的に人材を確保することを目的にした業界横断的な取り組みを図る。

4. 今年度事業計画

最小限のコンテンツを持たせた状態で、年内目途にウェブサイトを開設し、効果測定を行い検証し、改善を図っていく。

5. 協議会参加団体（7団体）

- ・ 全国電気管理技術者協会連合会
- ・ 全日本電気工事業工業組合連合会
- ・ (一社) 送電線建設技術研究会
- ・ (一財) 電気技術者試験センター
- ・ 電気事業連合会
- ・ 電気保安協会全国連絡会
- ・ (一社) 日本電気協会（事務局）
- ・ オブザーバー 経済産業省電力安全課

I．協議会設立にあたって

II．協議会が目指すインターネット戦略

III．第1回ワーキングでの検討事項

協議会が目指すインターネット上の仕組み

<目的>

最終的には、各団体のホームページ内にある採用関連ページのアクセスが増加し、ひいては就職希望者が増えることを目的とする。

<仕組み>

- ①各団体のホームページとの関連付けと、コンテンツの目的を整理した基本・総合的なウェブサイトを作成。保安系と工事系の区別も考慮。
- ②現状より幅広い若者を拾い集める機能として、インターネットユーザーの行動特性を勘案し、①に加え、インターネット上に複数のウェブサイト、SNS、動画などを配信し、インターネット上を回遊するユーザーの捕捉を図る仕組みを構築する。

これらを総称して「ポータル的な機能を持ったサイト群（ポータルサイト群）」と呼ぶ。

現在の仕組みイメージ

各団体のホームページは、「電気」を意識していないと検索されない傾向

電気に興味ある若者層



各団体のホームページ

協議会で再構築する仕組みイメージ

①「電気」を意識していなかった若者を誘導



職人に
あこがれる若者

地方で就職
したい若者



現場女子を
目指す女性



電気に興味ある若者層

かっこいい職人ランキング



地方でも起業



協議会
サイト

かわいい現場女子



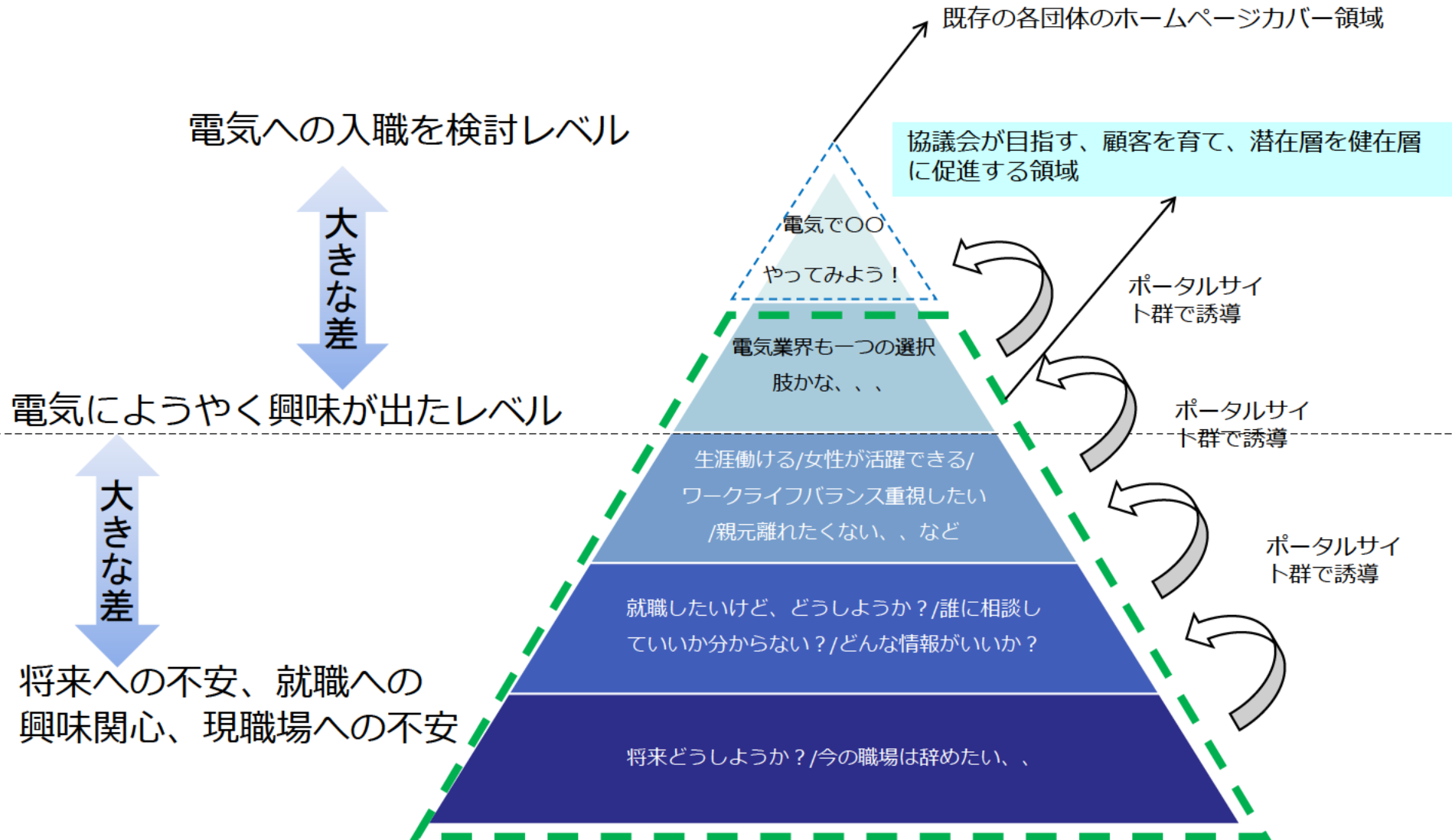
②協議会サイトで 各団体のホームページを整理

遷 移

各団体のホームページ



ユーザーニーズの整理と協議会の取組の位置づけ



- I．協議会設立にあたって
- II．協議会が目指すインターネット戦略
- III．第1回ワーキングでの検討事項

Ⅲ. 第1回ワーキングでの検討事項～ 第1回ワーキングの開催

1. 開催日

令和元年9月11日

2. ワーキングメンバー（9名）

各団体のホームページの作成等の広報業務又は、採用関係の業務に従事されている若手職員を中心。

3. 議題

「人材確保のための電気保安業界のインターネット戦略」について、ターゲットイメージ、ゴールイメージ、及びサイトの方向性について意見交換。

第1回ワーキングにて承認された事項

- ① 「電気」を意識していなかった若者の関心を引きつけ、最終的に各団体ホームページへ誘導する、「ポータルサイト群」を構築する。
- ② ターゲットは高校生以上の若者とその保護者とする。
- ③ 現場業務の魅力を訴求するコンテンツを中心とする。
* キーワード例
「生涯を通じて活躍できる」「独立開業できる」
「働く環境が整っている」「女性が活躍できる」
「かっこいい」「家族の応援が得られる（保護者向け）」
- ④ 第一弾としては、現場で実際に活躍している女性にスポットを当て、話題性のあるコンテンツとする。
- ⑤ 評価指標は、協議会サイトの閲覧数と、協議会サイトから各団体ホームページへ移動した回数等とする。